

# 徳島県文化芸術推進基本計画の進捗状況

資料2

## (1) 未知なる舞台！ みんなで築く「あわ文化」

施策の展開	指標及び数値目標	工程（年度別事業計画）					実績		令和2年度の具体的な取組内容	今後の取組方針
		R1	R2	R3	R4	R5	R1	R2		
①鑑賞機会の充実	○「はぐくみコンサート」開催箇所数 H29：1箇所→R5：15箇所（累計）	3箇所（累計）	6箇所（累計）	9箇所（累計）	12箇所（累計）	15箇所（累計）	2箇所（累計）	2箇所（累計）	子育て世代を対象に、親子が一緒になって、気軽に音楽を楽しめる「はぐくみコンサート」を開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、「おぎやと21」等の本事業と連携している次世代育成支援イベントが開催されなかったため、中止とした。	引き続き、幼少期から文化芸術の関心を醸成するとともに、子育て世代にも優しい鑑賞機会の充実を図る。
②県民主役の文化活動	○「とくしま夏の音楽祭」参加者数 H29→年間：2,200人以上	2,200人以上	→				2,350人	0人	あわ三大音楽をテーマに、県民主役の「とくしま夏の音楽祭2020」を開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止とした。	引き続き、県民が文化芸術に触れる機会として、県内で文化活動する方々の発表の場として、県民主役の音楽祭を開催する。
③文化活動による共生社会の実現	○障がい者芸術の全県展開「共生アートプロジェクト」 H29→R2：創設	創設	推進	→			創設	推進	<p>全県下を対象とした、障がい者芸術の理解促進イベントを実施した。</p> <p>(1)支援体制の充実 徳島県障がい者芸術文化・活動支援センターと連携し、相談窓口設置、人材育成、ネットワーク作りを実施</p> <p>(2)障がい者の発表機会の確保</p> <p>①「障がい者アーティストの卵」発掘展の開催 日時：R3.2.17-23 場所：徳島県立近代美術館 ギャラリー 内容：障がい者アート作品を公募し、81点展示（951名来場）</p> <p>②アール・ブリュット展の開催 日時：R3.2.11-28 場所：徳島県立近代美術館 内容：障がい者施設「アトリエコーナス（大阪市）、片山工房（神戸市）、たんぼぼの家（奈良市）」の ・利用者の作品展示 ・オンラインゲストトーク ・学芸員による展示解説 を実施</p> <p>③表現活動ワークショップ（創作ダンス） 新型コロナウイルス感染防止のため中止</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内事業所等からの相談対応</li> <li>・芸術文化活動を支援する人材の育成</li> <li>・関係者のネットワーク作り</li> <li>・障がい者の発表の機会確保 舞台芸術の取組支援（ワークショップ・発表会の開催）</li> </ul>

(2) 未知なる開花！ 根付き、育てる「人材・才能」

施策の展開	指標及び数値目標	工程（年度別事業計画）					実績		令和2年度の 具体的な取組内容	今後の取組方針
		R1	R2	R3	R4	R5	R1	R2		
①「あわ文化」 発展への 顕彰の実施	○「徳島県文化賞」はじめ 県、財団による顕彰の 実施  H29実施→継続実施	実施	→				実施	実施	徳島県、（公財）徳島県文化振興財団により表彰を行った。  ○徳島県による表彰 ・徳島県文化賞 竹宮 恵子氏（文芸）（R2.11.6） ・阿波文化創造賞 国領 尚子氏（洋舞）（R2.11.17） ・徳島県表彰 花柳 淳吾氏（日本舞踊）（R2.6.2） 米川 慶子氏（手工芸）（R2.6.2） 等  ○徳島県文化振興財団による表彰（R3.3.30） ・とくしま芸術文化賞 松永 勉氏（美術・彫刻） 龍木 秀子（手工芸） ・とくしま芸術文化奨励賞 天羽 汕景氏（書道） 山本 貴子氏（音楽） 吉野 由紀氏（手工芸） 等	引き続き、県内の文化芸術 活動の振興のため、功績の あった方々を顕彰する。
②文化芸術 団体の 活性化	○「文化アドバイザー」 派遣回数  H29→年間10回以上	10回	→				10回	0回	県内芸術文化団体の文化活動を活性化させるとともに、 新たな文化活動への取組みを支援するため、各団体に文化 アドバイザーを派遣する予定であったが、新型コロナウイルス 感染症の影響により、中止とした。	引き続き、県内の文化芸術 活動の更なるステップを図る ため、文化芸術団体等に対 し、様々な分野の専門家から 助言を行う。
③文化活動 への若者 参加の促進	○各分野で活躍する芸術家 による「中学生ワーク ショップ」の開催  H29→R1：開催	創設	推進	→			開催	中止	11月に「第6回徳島県中学校総合文化祭」中央大会の 関連イベントとして、「ふれあいワークショップ」を開催 予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で 中止となり、予定していたワークショップ「鈴木良治氏を 講師に迎えての『ふしぎな版画 リトグラフ』」は次年度 に延期となった。	今年度11月に「第7回徳 島県中学校総合文化祭」中央 大会の関連イベントとして、 「ふれあいワークショップ」 を開催する。 新型コロナウイルス感染症 対策を徹底して行いながら、 鈴木良治氏を講師として「ふ しぎな版画 リトグラフ」を 実施予定。

(3) 未知なる創生！文化の力で「まちづくり」

施策の展開	指標及び数値目標	工程（年度別事業計画）					実績		令和2年度の具体的な取組内容	今後の取組方針
		R1	R2	R3	R4	R5	R1	R2		
①地域づくり・地域団体への支援	○地域の文化資源の保存・継承等に取り組む団体への支援数（累計） H29:30事業→R5:150事業	30事業 (累計)	60事業 (累計)	90事業 (累計)	120事業 (累計)	150事業 (累計)	51事業 (累計)	84事業 (累計)	県民の文化活動を促進する支援として、 ・あわ文化の担い手育成 ・あわ文化の継承・発展 ・第九100周年の成果の継承 ・地域で受け継がれる文化資源の再生と活用など に取り組む市町村や文化団体等に対し、「あわ文化創造支援費補助金」を交付した。  【令和2年度・補助実績】 補助率：2/3、補助額（上限）1,000千円/件 件数：33事業、補助金額：15,270千円	引き続き、その地域に根付いた文化資源を保存・継承する活動を支援する。
②地域文化を通じた郷土愛・地域愛の醸成	○文学書道館等、拠点となる文化施設での講座開催回数 H29:125回→年間130回以上	130回以上	→				134回	75回	文学書道館における文学や書道関係の講座のほか、阿波十郎兵衛屋敷における鑑賞講座や生け花などの文化講座、あわぎんホールにおける郷土文化講座や阿波木偶制作教室などを感染防止対策を徹底した上で開催し、県民が文化に触れ、親しむ機会を創出した。 非常事態宣言に伴う臨時休館や、開催自粛等による講座の中止により開催回数は減少したが、3密回避の対策として俳句教室や書道講座をオンラインにて開催するなど、新たな取組みを行った。	引き続き、感染防止対策を実施しながら、普及事業の実施を推進する。
③「徳島ファン」の活用	○クラウドファンディング等を活用した文化保存・継承活動 H29→年間1件以上	1件以上	→				1件	1件	「ふるさと納税制度」を活用したクラウド・ファンディングによる寄附金を原資に、「鶴林寺道」の植樹、倒木除去等の環境改善を実施した。	県民の文化財保護の機運を醸成するため、県民参加型の「札所寺院・遍路道」の保存継承活動に取り組む。

## 徳島県文化芸術推進基本計画の進捗状況

資料2

## (4) 未知なる融合！文化と経済の「好循環」

施策の展開	指標及び数値目標	工程（年度別事業計画）					実績		令和2年度の 具体的な取組内容	今後の取組方針
		R1	R2	R3	R4	R5	R1	R2		
①文化資源の活用促進	○埋蔵文化財特別展示等の実施 H29→R1速報展 R2特別展示	展示 (速報)	展示 (特別)	展示	→		展示	展示	「埋蔵文化財」の保存と活用を図るため、「レキシルとくしま」において、特別企画展や埋蔵文化財速報展を開催し、県民の埋蔵文化財への関心を高めた。 ○特別企画展（重要文化財） 期間：令和2年10月23日から11月22日 来場者：944人 ○埋蔵文化財速報展「発掘とくしま」の実施 期間：令和2年6月9日から7月12日 来場者：983人	県内での発掘調査の成果等を県民に周知し、埋蔵文化財への関心を高めるため、引き続き速報展や講演会を実施する。
②新たな文化の創造・発展	○徳島ならではの「eスポーツ」の全国規模の競技会・交流会の開催 H29→R4、R5開催				開催	⇒	-	-	国体の文化プログラムとして初めて採用された「eスポーツ」の県代表決定戦を「知事杯」として開催したほか、「e活研セミナー」を開催し「eスポーツ」の有する経済効果や社会的意義（ダイバーシティ社会の実現等）の周知に努めた。 ①eスポーツステージとくしま(R2.8.12~8.16)※オンライン 会場：オンライン、YouTube再生回数：約5,800回 ②全国都道府県対抗eスポーツ選手権2020KAGOSHIMA徳島大会（知事杯）(R2.11.7) 会場：阿波銀行本店営業部他、YouTube再生回数：605回 ③「四国ブロック大会」と「e活研セミナー」(R2.11.8) 会場：阿波銀行本店営業部、YouTube再生回数：1,648回	引き続き、オンライン大会の開催など、全国に先駆けた「eスポーツ」イベントを展開することにより、全国大会など大規模イベントの招致に繋げる取組みを展開する。
③文化による経済効果の発現	○徳島の文化資源や歴史・伝統をテーマとした旅行企画 H29→R1実施	実施	→				実施	実施	○阿波十郎兵衛屋敷において、遊覧船と浄瑠璃鑑賞を組み合わせた「じょうりクルーズ」を運行した。（令和2年度：2回） ○遊山箱という徳島の伝統文化を将来に繋げていくことを目的に、「遊山の日」にあわせて創作人形浄瑠璃公演や江戸時代から現代に至るまでの遊山箱の展示、遊山箱ランチの提供等、遊山箱の新しい活用方法を提案する企画を実施した。 ・開催日：令和3年4月3日 ・場所：阿波十郎兵衛屋敷	引き続き「じょうりクルーズ」等、徳島の文化資源や歴史・伝統をテーマとした企画を実施する。

(5) 未知なる発信！「あわ文化」ブランドの創出

施策の展開	指標及び数値目標	工程（年度別事業計画）					実績		令和2年度の 具体的な取組内容	今後の取組方針
		R1	R2	R3	R4	R5	R1	R2		
①戦略的な 情報発信	○観光情報サイト 総アクセス件数 H29:523万件→R5:620万件	540万件	560万件	580万件	600万件	620万件	275万件	529万件	観光情報の充実を引き続き図るとともに、SNS等を活用し「阿波ナビ」の周知に積極的に取り組んでいる。  令和2年度においては、目標値をやや下回ったが、令和元年度の総アクセス数と比べると倍増する結果となった。原因として、Googleクローラーとリニューアル後の阿波ナビの連携が完了したことによるメタ・ディスクリプション（検索結果画面にページタイトルの下に表示されるもの）の改善及び「とくしま応援割」やイベント開催状況・観光施設休館情報等、新型コロナウイルス感染拡大に伴う情報発信の充実が考えられる。	今後も引き続き、新型コロナウイルス感染拡大に伴う情報発信を行うとともに、情報発信力の向上に努めるとともに、常に観光客の目線に立った分かりやすい観光情報サイトづくりに努める。
②映像の 効果的活用	○「あわ文化」の4K・8K、VR、5G等新技術を活用したコンテンツの制作 H29→年間3件以上	3件以上	→				4件	6件	「阿波人形浄瑠璃」や「阿波おどり」をテーマに、無観客公演を自由なカメラワークで撮影し、VR動画を含めた質の高いデジタルコンテンツを制作し、あわ文化の魅力を発信した。  【制作】4K動画：5本、VR動画：1本	今後も、「あわ4大モチーフ」をテーマに、質の高い「デジタルコンテンツ」等を制作し、国内外に向けて魅力発信を行う。
③グローバル 化の加速	○「阿波おどり」「人形浄瑠璃」の海外公演及び指導者派遣回数（累計） H29：4回→R5：35回	15回 (累計)	20回 (累計)	25回 (累計)	30回 (累計)	35回 (累計)	17回 (累計)	17回 (累計)	新型コロナウイルスの感染拡大による渡航制限等により、海外公演・指導者派遣を行うことはできなかったが、本県が世界に誇る伝統文化「阿波おどり」の魅力をオンラインを積極的に活用して広く世界に発信し、「認知度向上」や「徳島ファン」の拡大を図った。  ・在外公館と連携した阿波おどり教室・配信（3回） ・現地連と連携した阿波おどり公演のライブ配信（2回）	今後も、各国の情勢を注視しながら、在外公館や関係団体と連携を図り、withコロナ時代に対応した、本県が世界に誇る伝統文化「阿波おどり」「人形浄瑠璃」の海外公演や指導者派遣を実施し、積極的な魅力発信を行う。